令和４年第２回雲仙市議会定例会

市　長　報　告
（開　会）

令和４年６月９日

雲仙市長　金澤 秀三郎

はじめに、新型コロナウイルス感染症への対応について報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数につきましては、県内及び市内においても、ピーク時より減少傾向にあるものの、現在におきましても断続的に感染者が確認されております。

このような中、国においては、５月２３日に新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の改定を行い、屋内、屋外におけるマスク着用の考え方が示され、また、長崎県においては、病床使用率が低い水準で推移していることなどを踏まえ、本日付けで感染段階レベルを「１」に引き下げられました。

これから気温・湿度が高くなる季節になり、マスクの着用による熱中症のリスクも高くなることから、市民の皆様におかれましては、引き続き感染防止対策と併せ、熱中症対策も講じていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、４月から新たに５歳から１１歳までの小児の接種を開始しており、

本市の全人口に対する接種者の割合は、６月５日時点で、１回目が８１．７％、２回目が８１．１％、３回目が６２．１％となっております。

４回目の追加接種につきましても、医師会等との調整を踏まえ、接種開始に向けた準備を行っているところであり、今後も接種を希望される市民の皆様が安心して円滑に接種を行えるよう引き続き取り組んでまいります。

また、経済対策につきましても、市内経済の状況把握に努めながら国・県の動向を注視し、本市における対策を速やかに講じてまいります。

続きまして、市民の皆様の活躍につきまして、報告させていただきます。

【春の褒章の受章について】

４月２９日、令和４年春の褒章が発令され、本市から２名、１団体が受章されました。

「緑綬褒章」を受章されました愛野町の山口陽子様は、長年にわたり雲仙市食生活改善推進員連絡協議会の会長とし

て、地域住民の健康増進を支援されてきたご功績がたたえられたものでございます。

「黄綬褒章」を受章されました吾妻町の本多幸成様は、ブロッコリー農家として地域農業の発展に先駆的な役割を果たされたご功績がたたえられたものでございます。

「緑綬褒状」を受章されました図書ボランティアグループ「愛のおはなしの部屋」様は、長年にわたり学校や幼稚園等、地域における読み聞かせ活動を行われてきたご功績がたたえられたものでございます。

【更生保護の分野における活躍について】

４月１１日、社会福祉法人南高愛隣会様が運営する「雲仙・虹」の前施設長で、瑞穂町在住の前田康弘様が、社会福祉法人初となる更生保護施設の初代施設長として更生保護や再犯防止への支援に尽力されたご功績が認められ、日本の文化活動に著しく貢献された方に贈られる「第５６回吉川英治文化賞」を受賞されました。

また、同賞の副賞の一部を本市にご寄附いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。

【健康福祉の分野における活躍について】

５月１４日、「第１９回長崎県ねんりんピック」が開催され、雲仙市から９競技、７３名の選手が参加し、国見町の吉武俊雄様がソフトテニス競技の男子ペアの部に出場され、見事優勝されました。

【生涯学習の分野における活躍について】

４月２３日、図書ボランティアグループ「みずほ　なかよし会」様が、長年にわたり地域の読書活動推進に尽力されたご功績により、「令和４年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体　文部科学大臣表彰」を受賞されました。

【協働のまちづくりの分野における活躍について】

３月２４日、小浜温泉街の国道５７号を中心に道路環境美化活動を行うボランティア団体「小浜温泉５７」様が、ジャカランダの植栽による地域活性化に取り組まれてきたご功績により、国土交通大臣表彰である「手づくり郷土賞」を受賞されたことを受け、伝達式が行われました。

また、６月２日、田代原を拠点に活動する「特定非営利活動法人　奥雲仙の自然を守る会」様が、ミヤマキリシマの保全や自然体験学習の場の提供等に取り組まれてきたご功績により、「第３４回森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクール」において「林野庁長官賞」を受賞されました。

この度、様々な分野においてご活躍され、また、受賞をされました皆様方に対し、心からお祝い申し上げますとともに、なお一層のご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等につきまして、第２次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針１「暮らしと安心」の分野について】

地域ぐるみの子育て支援体制の強化につきましては、３月２５日、地域児童の健全育成の場として運営してまいりました「下峰児童館」の閉館式を、松尾議長をはじめ、市議会議

員の皆様や多くの来賓の皆様のご臨席を賜り挙行いたしました。

閉館後の施設利用につきましては、児童福祉関係の事業を実施するよう計画を進めているところでございます。

介護予防と生活支援の充実につきましては、４月１１日、認知症を予防し、いきいきと自分らしい生活を送ることを目的として、６５歳以上の方を対象とした「脳の健康教室」を新たに開講いたしました。

地域防災体制の強化につきましては、３月２４日、株式会社大塚商会様から寄贈いただいた「レイパワー社ＬＰガス発電機」を、指定避難所である国見農村環境改善センター及び雲仙やまびこ会館に設置いたしました。

また、５月３０日、本格的な大雨シーズンを前に、昨年８月の大雨により土砂崩れが発生した雲仙地区において長崎県が実施している災害対策関連事業の確認など、市内４箇所について、担当部署や島原振興局から説明を受けながら点検を実施いたしました。

今後も災害対応の充実と併せ、防災、減災の取り組みの強化を図り、市民の皆様の安全確保に努めてまいります。

【基本方針２「産業と交流」の分野について】

雲仙ブランドの構築及び販路拡大・地産地消の推進につきましては、５月１３日から１５日にかけて、一般社団法人雲仙観光局との連携により、株式会社イズミ様において、同社が展開されている「ゆめタウン」の九州全１９店舗で「雲仙市フェア」が開催されました。

この取り組みにより、雲仙ブランド認定品を中心に雲仙市の一次産品や加工品を販売していただき、九州各地で雲仙市をＰＲしていただきました。

多様な交流の実現につきましては、４月１１日、九州大学バスケットボール連盟様と「スポーツ大会開催による地域振興（活性化）に関する協定」を締結いたしました。

この協定を踏まえ、５月１３日から１５日にかけて「第２７回全九州大学春季バスケットボール選手権大会」が、また、５月２７日から２９日にかけて「全九州大学バスケットボール新人戦（プレ大会）」が開催され、両大会期間中は、多くの選手や大会関係者が市内に宿泊いただき、地域に賑わいをもたらしました。

【基本方針３「社会基盤と環境」の分野について】

高規格道路の整備につきましては、５月２１日、高規格道路「島原道路」の一部である一般県道諫早外環状線（長野～栗面工区）が開通し、「島原道路」全体の供用率は約４４％に達しました。

主要道路の整備につきましては、国道５７号「富津防災」の国における新規事業化を受け、市議会及び市議会において設置された「愛野・小浜バイパス整備促進特別委員会」と市の合同により、５月下旬から６月上旬にかけて金子農林水産大臣をはじめとした県選出国会議員及び国土交通省などの関係機関へ新規事業化のお礼と事業促進の要望を行ってまいりました。

今後も松尾議長、大久保委員長をはじめとした議員皆様のお力添えを賜りながら、「富津防災」の円滑な事業推進に努めてまいりますとともに、将来的には愛野町から小浜町間全線の道路整備実現を目指して、要望活動等に取り組んでまいります。

【基本方針４「人財と郷土」の分野について】

スポーツ環境の充実と利用促進につきましては、４月９日、雲仙市小浜体育館の落成式を、市議会議員の皆様にご臨席を賜り執り行い、４月１０日から一般供用を開始いたしました。

今後も小浜体育館をはじめ、市内の各スポーツ施設を拠点として、スポーツの振興による地域活性化を図ってまいります。

文化財の保存・活用につきましては、４月２３日、諫早市多良見町山川内の墓所が、民間の調査において、本市の偉人である天正遣欧少年使節の千々石ミゲルの墓所との発表がなされ、４月２５日には千々石ミゲルの供養碑が地元有志の皆様によって生誕の地である千々石町に建立されました。

これまでの千々石ミゲル研究会をはじめとした関係者の皆様によるご尽力に対し、心から敬意を表しますとともに、未だ不明な部分が多いとされております千々石ミゲルの生涯について、今後、解明されますことを期待いたしております。

また、５月３０日、長崎県立西陵高等学校の放送部と美術部の皆様から、旧雲仙鉄道の車内放送の復元についてのご報

告と併せ、線路跡を写真や映像でたどる動画のＤＶＤ及びチラシをご寄贈いただきました。

西陵高等学校の皆様に深く感謝いたしますとともに、ご寄贈いただきましたＤＶＤ等につきましては、市内施設に掲示する等、有効活用に努めてまいります。

【基本方針５「協働と戦略」の分野について】

市民活躍のまちづくりにつきましては、経済的理由等により、生理用品を充分に購入できない方への支援として、６月１日から、市役所及び各総合支所の女性用トイレ、多目的トイレに、相談や支援に繋げるための各種相談窓口のチラシで包装した生理用品を設置しております。

今回の生理用品の設置に向けた包装作業につきましては、市内で活躍されている女性団体の皆様にご協力頂いており、各団体の皆様のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。